



相手に生きる

学校教育目標 「相手に生きることによって自己を生かす」
西中スタンダード「あいさつ」「歌」「清掃」「花」「服装」「時間」

平成28年度 学校自己評価報告

2学期末に実施させていただいた学校自己評価アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。アンケートの結果については、裏面に掲載させていただいておりますのでご覧ください。学校自己評価より見えてきました今年度の成果と課題につきましては、よりよい学校づくりのために次年度の学校運営に活かしてまいります。今後とも、本校の教育活動へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

◆生徒・保護者アンケートの結果より◆

【主に学校生活に関すること】

90%を超える生徒が『私は、学校が楽しい』と答え、家庭でも同様にとらえられていました。その上で、質問の趣旨から「あまり楽しいと感じない」生徒が少数でも存在することに着目し、消極的な回答の生徒が「夢や目標を持っている」ことに自信をもって回答できない生徒でもあるとの分析から、今後も個々の生徒を大切に、生徒相談や生活ノート、日常の観察などを通して見守ってまいります。生徒相談、生徒指導に関しては、生徒、保護者ともに「適切である」旨の回答結果となっていますので、現在の方向性を大切に、より一層の充実を図っていきます。『思いやりや協力』については、人権教育や道徳、学級活動の成果、家庭生活で大切にしていることが生徒に根付いていることが伺われる結果となりました。

また、『生徒会活動への取り組み』は、90%を超える生徒・保護者が前向きにとらえをしています。特に、『服装・身なり』『挨拶』『時間』への生徒の積極的な回答結果から、生徒のよる自治の力が育ってきていることがわかりました。

【主に学習に関すること】

『家庭学習が基礎学力を身に着けるために役立っている』ことを多くの生徒が感じており、先生方が工夫をして分かりやすい授業をしていると受け止めているようです。しかし、家庭ではその実感が薄いようです。質問5, 7, 8における生徒と保護者の回答結果にかい離がみられます。この原因として、家庭ではテストの結果等に学習の成果が見えていないと受け止められていることや、全国学力学習状況調査の生徒質問紙等から明らかになった本校生徒の家庭学習の時間が短いことが挙げられると思われます。家庭学習について「あまりあてはまらない」と回答した13.5%の生徒は、家庭学習の習慣化がなされていないことも考えられます。『自らの目標に向かって努力している』に11.6%が「あまりあてはまらない」と答えていることもその裏付けとみられます。一方で、保護者からは学習以外にも部活動への取り組み等を通して、子どもの努力を前向きに受け止めた回答が得られています。

『自分の考えを説明したり発表したり』することは、今年度も課題となりました。田毎祭等での発表の姿から、保護者の約77%が「あてはまる」旨の回答をしていますが、生徒では55%しかなく、自信のなさを伺わせます。このことは、質問13の『よりよく問題を解決する力』に関して30%以上の生徒の消極的な回答へも繋がっていると思われます。自己表現力をどう高めていくか、主体的・対話的な学びをどう進めていくか、本校の取り組んでいる「教えて考えさせる授業」を高めていく過程で、グローバルな時代に対応できる「教わる」から「学ぶ」への学習の成長を図ってまいります。

【主に地域・家庭での生活に関すること】

生徒の回答が好印象のものでも保護者の回答とかげ離れているものがあります。(質問8, 14, 15, 16, 17, 19)今年度は、地域の方から「西中生の挨拶がすばらしい」お話を幾度となく届けていただきました。『挨拶』『時間』『清掃美化』など生活に関わるものについては、学校での姿が家庭生活の中では見られないことが危惧されます。学力学習状況調査では、家庭生活や地域とのつながりについて高い結果が出ていますので、生徒の学校での姿が日常に根付いていないのか、学校での姿が家庭に十分に届いていないのかを考えていく必要があるところです。

【主に家庭と学校の連携に関すること】

前述の生徒と保護者の回答のかい離について、学校から家庭への情報発信の仕方についても改善点があるように思います。学校だより、学年通信等が「分かりやすく伝えられている」とする保護者は87%いるので、伝えるべき内容や発信すべき情報について考えていく必要があるようです。4月よりコミュニティスクールとして地域の方々に学校の教育活動に大きく関わっていただくことから、地域・家庭への情報発信をより大切に考えていきたいと思っております。

◆学校評議員の方々からの意見◆

学校自己評価の結果について、2月3日（金）に行われた学校評議員会で評議員の方よりの評価とご意見をいただきました。その内容を紹介させていただきます。生徒・保護者の皆様からのアンケートの結果、自由記述にいただいたご意見と合わせて、次年度の教育活動に反映させてまいりたいと思います。

【主に学校生活に関すること】

- ・生徒と先生が共に汗を流す姿、生徒の側に立った指導をしていただき、ありがとうございます。その姿が、生徒に伝わっていると思います。
- ・「服装、身なり」「清掃」「挨拶」「時間を守る」は、落ち着いた学校生活を送る上で大切な習慣だと思えます。生徒の自治力によって保たれ、向上しているように思えます。今後も大切に育てていただきたい。
- ・自己表現について、生徒の自己評価が低い。自己肯定感を高める工夫をしていきたい。経験の多さが自信につながると思うので、ご指導をお願いしたい。
- ・「学校が楽しい」と積極的に答えられていることはとても良いこと。ただし、わずかな「楽しくない」という生徒のケアを大切にしてほしい。
- ・学校の目的は、勉強ができ、成績が良い子を育てることではないと思えます。子供達の豊かな情操を育て、耐える力（心身ともに）をつけることではないでしょうか。社会に出て、大きく活躍する子は、この力をもった子供達です。

【主に学習に関すること】

- ・学習意欲の高まり、学力の向上、生活意識の向上、すべてが先生方の指導や姿勢にかかっています。現在の姿勢を大切に、優秀な人材を育てるという意気込みをもって指導に当たってほしい。
- ・先生方の授業の工夫が、十分に保護者へ伝わっていない様子が見られる。保護者は授業が分かりにくいと感じているようです。先生方は、自分の指導法に自信をもって授業を進めてください。その上で、たゆまぬ自己研鑽はぜひお願いしたい。
- ・基礎学力の定着について、保護者は定期テスト等の点数で見ているように思われる。親は少しでも点数が上がってほしいと願っていることを考えれば、教師としては、授業力を向上させていくことで応えていくことである。多忙であるが、日々、先生方には頑張っていただきたい。
- ・どうすれば家庭学習の時間が増え、テレビ、携帯の時間が減るのか、学習することの楽しさはどう気づかせていくかにかかっているように思えます。わかる授業、楽しい授業づくりだと思います。

【主に地域・家庭での生活に関すること】

- ・「私は夢や目標をもって生活している」について、「あてはまる」の回答が低いが、親子の会話が少ないと思われる現状はないだろうか。
- ・道で出会った時、気持ちの良い挨拶をしてくれます。校内での実践が地域でも発揮されています。現状を維持し、更に向上できるように、生徒自身、また親も職員の皆さんも自信をもって習慣化してほしいと思う。
- ・全国学力学習状況調査の結果から、家庭学習が県平均の60%全国平均の1/2・・・とあり、TVかDVDを見る時間が県平均の2倍、ゲームをする時間が他より多いという分析がされていますが、どうしてそんなに大きな隔たりがあるのか。もし本当でしたら、大きな問題です。

【主に家庭と学校の連携に関すること】

- ・質問14～17の結果の生徒と保護者の回答の乖離から、学校での生活と家庭での生活にギャップがあるように思える。家庭では比較的あまえた生活を送っているように感じられる。
- ・全体的に学習時間が少ないのが気になります。特に、テレビ、DVD鑑賞、ゲーム等の時間が平均よりかなり多い。このことは、学校と保護者が協力して改善していく必要あると感じる。
- ・学校日より、子供達の通学や帰宅等の態度やあいさつから、そして田毎祭、部活動、多くの生徒作品の出品、応募等の成果から、生徒の姿、西中学校の校風や方針等が評価できます。

【その他】

- ・教職員の不祥事が依然として後を絶ちませんが、西中で日々生徒のために指導していただいている先生方には本当に感謝です。これも、先生方が生徒のために同じ意識で、同じ方向に努力いただいているおかげだと思います。とにかく自信を持ってやっていただきたいと思えます。応援しております。
- ・新しい校舎、体育館に負けないくらい充実した中学校生活を送れるようにと願っています。

学校自己評価へのご協力ありがとうございました。

<文責：教頭 畑>